

結城市市制施行70周年記念



結城市男女共同参画都市宣言
20周年記念シンポジウム
(雇用促進対策セミナー連携事業)



ダイバーシティのその先へ

～だれもが輝く結城の未来～

【結城市】ダイバーシティのその先へ ～皆で創ろう！参加者の声～

(見本：フォーム案内)

リアルタイムで皆様の声をお聞かせください！

講師への質問やダイバーシティに関する質問、
寸劇の感想など、どんなことでもお寄せください。

皆様のご意見をリアルタイムで集計し、
パネルディスカッションでご紹介します。

QRコードの読み取りでご不明な点がございましたら
お近くのスタッフまでお問い合わせください。



【1】 やさしく学ぶ「ゆうき女性会議&こども劇団Nijiiro」 寸劇はいかがでしたか？ 感想をお聞かせください♪ (1/3)

- ・お子さんの演技が自然で分かりやすかったです。全ての人が平等で楽しく生きることを目指すのですね。一人ひとりが考えていくことが大切なのですね！
- ・楽しかったです。話している事全てに納得しました。
- ・とてもわかりやすくて良かった
- ・面白く思いました
- ・こども劇団かわいい！
- ・分かりやすくキャッチーで良い寸劇だったと思いました！
- ・楽しく勉強になりました！
- ・難しい言葉が日常の出来事で劇になっていて、楽しく学べました。特にかき氷のお話しが衝撃でした。同じ味なんて！
- ・女性会議および子ども劇団の寸劇がでとても良かったです。
- ・とても良くわからない言葉を分かりやすく教えていただきました。美しい日本語は何処に行ってしまったのか？横文字カタカナばかりで良いの!?
- ・学びや気づきがありました

【1】 やさしく学ぶ「ゆうき女性会議&こども劇団Nijihiro」 寸劇はいかがでしたか？ 感想をお聞かせください♪ (2/3)

- ・身近な偏見の気づきがあって良かった。
- ・一生懸命頑張っていて良かったです。話もよくわかりました。

- ・知っているつもりだったが、初めて聞く言葉もあり勉強になりました。演劇が上手な人とそうでない人で劇団を作っているのだなと思いました。
- ・おもしろかった
- ・具体例や会話の再現などでわかりやすく工夫されていた。来場者の年代によっては、共感の度合いや受け取り方は異なるかもしれない。答えはなく、それをこれから皆で一緒に考えようという締めが良かった。

- ・楽しく、わかりやすかった
- ・分かりやすかった
- ・子どもたちは遠慮せず大きく演技をして好感が持てました。

- ・こども劇団Nijihiroの子たちがかわいくて、でも中身も考えさせられる内容で、とてもわかりやすかったです。

【1】 やさしく学ぶ「ゆうき女性会議&こども劇団Nijihiro」 寸劇はいかがでしたか？ 感想をお聞かせください♪ (3/3)

- ・ 誰がこの台本を作ったのかと思った
- ・ 劇団の寸劇がとても良かった。かき氷シロップの話、わかりやすい決めつけ、思い込みしやすいです
- ・ 分かりやすい内容で理解が深まりました。

- ・ わかりやすかった
- ・ とってもおもしろかったです！
- ・ 皆さんの一生懸命な寸劇を楽しませていただきました。わかりやすかったです。

- ・ 分かりやすく伝えようと頑張っていらっしゃる事が伝わってきて、良かったと思います。
- ・ 新しい文言をわかりやすく説明していた。
- ・ 良かった

- ・ とってもわかりやすく、楽しく観させて頂きました テーマごとに切り替わったので 面白かったですね 本音も聴けました 子どもたちも上手(*^^*)

【2】 浜田敬子先生の講演について 感想や学び・気づきなど (1 / 3)

- ・ご自身の経験を通じての男女共同に係る視点・考え方のお話で、大変ためになると感じました。
 - ・直接お話を聴くことができ感激です。ほぼ同年代であり、仕事をしてきたなかで浜田さんと同じような気持ちで生活してきました。
 - ・自分では考えなかった視点を認識できました
-
- ・TVで拝見しているので勝手に親近感を持っていました。とても解り易く歯切れのいい言葉でどんどん入ってきました残念なことはプロジェクターの画面が切れたりスムーズではなかったですね。
 - ・改めて、多様性の大切さがわかりました。
 - ・他国に比べて、東京大学に進学する女性が少ないことに驚きました。
-
- ・私の育った家庭で男尊女卑を感じたことはなかった。しかし、本日の講話内容を聴くと、本当に令和の時代なのかと驚きました。法律や制度を整備しても、根本的な価値観が変わらないと、世の中は変わらないと思いました。
-
- ・職種によって初めは？と思ってもそういうもの他の人の目男女の差によって仕方ないと諦めていた頃、アエラが創刊され楽しみに読んでいました。女性編集者の頑張りに励ましてもらいました。
 - ・具体的な事例紹介があり、参考になりました。
 - ・日本の伸び代は女性がいること。まだ大丈夫です。

【2】 浜田敬子先生の講演について 感想や学び・気づきなど (2/3)

- ・クオーター制 少し疑問でしたが「アエラ」での3割の女性でも元気な仕事ができる事を伺いチャンスもらうことの大切さを感じました。
- ・共感しかありません。女性を元気にできる結城市にしたいです。
- ・社会の壁や意識を変えるには、長い時間がかかると思う。諦めずに訴え続けることが必要だと思う。特に、小中学校の時代から、ジェンダー教育は必要だと思う。子供がその親に気付かせていく家庭内教育が近道と思われれます。
- ・共感
- ・ご苦勞もあった中で、能力を発揮して仕事をされてきたことがわかりました。部下を信じて働き方を変えるなど、創意工夫することがすごいと思いました。
- ・無意識の偏見、ジェンダーギャップ
- ・地方創生10年の課題や男女の賃金格差なども交えて状況を解説してくれたのが良かった。アイスランドの事例も聞いて、本気でやれば日本もこれからジェンダーギャップの解消は実現できるかもしれないと思った。
- ・わかりやすく よかった
- ・同感することが多かった

【2】 浜田敬子先生の講演について 感想や学び・気づきなど (3/3)

- ・知ってる情報ではあったが先生ならではの話なのでスッと入ってきた
- ・少子化は単に女性側の問題ではなく、社会構造の問題であるというお話を興味深く聞かせていただきました。
- ・働く女性として共感できるところがあった
- ・組織として働き方を変えることが、女性が一步先に進むきっかけになるのかなって感じました。
- ・浜田先生より少し下の年代の女性ですが、私もこれまでずっと勤務を続けていて、ああそうだよねと思う事が多く、共感しました。お茶くみをやめた・・・、は、私も過去自ら止める！と宣言して止めた事が懐かしいです。
- ・女性活躍は、意思決定層に多様性が生まれ、多様な目線から政策決定できる（企業なら経営決定できる）という意見は納得です。ただ、女性活躍推進を旗振りすると、女性側からは、大きなお世話、活躍推進などと背中を押されなくても、自力でやってきましたし、不平等と感じたことはないです。という意見をいただきます。こういった意見に対してどのように社員の納得をえれば良いのでしょうか？
- ・豊富な取材によるお話は、説得力がありました。
- ・面白かった

【3】 疑問、質問、訊いてみたい、あんなこと・こんなこと…は、こちらへ！

- ・ 浜田さんに質問です。世代間でもジェンダー平等意識の違いがあると思いますが、若い方の考えはどう変化していますか？変な刷り込みをしなければ、変わっていくのでしょうか。
- ・ 男子高校と女子高校の共学化による論争がありますが、浜田先生はどうお考えですか。
- ・ ジェンダーを指摘すると、意識の低い人から逆ギレされます。また、指摘された方も何が悪いのか、長年染み付いた慣習は簡単には変わらないようで、どうしたらよいわからず話さなくなってしまう。
- ・ 浜田先生へ夫婦別姓賛成派です。現状（なかなか議論が進まない）状況をどうお考えですか？
- ・ 「女性は」という切り口で議論されることが多いが、「男性は」という視点からの変革の考えはないのか？
- ・ 男女共同参画＝女性が多いのはなぜだろう
- ・ 今、SRHRの事が叫ばれているなかで、一方では、ますます少子化が進むのではとの意見もあります。この点について、どのように考えているのかを伺いたいです。
- ・ 米国マクドナルドが多様性廃止するという方針について

【4】 独り言・つぶやきレベルだけど、実は拾ってくれたら喜ぶ！嬉しい！（1/3）

- ・とりあえず年長の女性を管理職にしよう！はやめてください！
- ・男尊女卑は永遠に続くでしょう！
- ・サンデーモーニング、モーニングショー、楽しみに見えています。

- ・子ども家庭庁の施策は本当に的はずれ。若い世代、若い世帯、保護者の実情にまったく合っていない。

- ・共働き家庭で子供をあづかってくれる所が無い。小学生には学童保育がありますが幼稚園児の特別保育はありますが料金が高いよで夏休み等は子供の預け先に苦労しています。子供を子供をと出生率を上げるように言われても子供はすぐには大人にはなりません。どうにか少しずつでも子育てしやすい世の中に変化してほしい。

- ・AERAの編集長時代のお話で、女性社員を信頼して、働きやすい時間で仕事をしてもらって業績があがったとのことでしたが、社員を信頼して裏切られたことが何度もあります。大手新聞社に入れるレベルの人材と、地方の零細企業に入ってくる人材に道徳的レベルの格差があるように思います。また、既婚女性はやはり子供の病気やイベントで休みますので、田舎ではまだまだ旦那の理解を得ることは難しく、同じ仕事をしていても男性の給与が高くなったり、男性が役職につくことになります。

【4】 独り言・つぶやきレベルだけど、実は拾ってくれたら喜ぶ！嬉しい！（2/3）

・都内の会社に勤務してます。地方（結城市近郊在住）と都内のジェンダー格差を強く感じます。都内の会社は女性も管理職で多く活躍してます。3人の子供つながりで知り合った方々と話しても、男女の性別の違いで育て方を変える言葉に違和感を感じるこの頃。女性として地方は住みにくいと感じます。

・友人や親戚で小さい子どもの話題になると、「男の子は大変」「女の子だから手がかからない」と言った会話が聞かれる。性別学上、事実なのかもしれないが、いつもモヤモヤしてしまう。「女の子だけど乗り物好き」といった表現を母などがすることがあるが、そういう決めつけは良くないと、逐一伝えるようにしている。

・ジェンダーギャップは悲観するほど停滞しておらず着実に進んでいると思う。

・一部の人達だけでいつの間にかすでに物事が決まってしまう、ということに対して例として「政治家」とありましたが、今日この場にいる「政治家」の皆さんはどうお考えになったのでしょうか。。。

働きたい女性ばかりではないのでこればかりではないけどね。

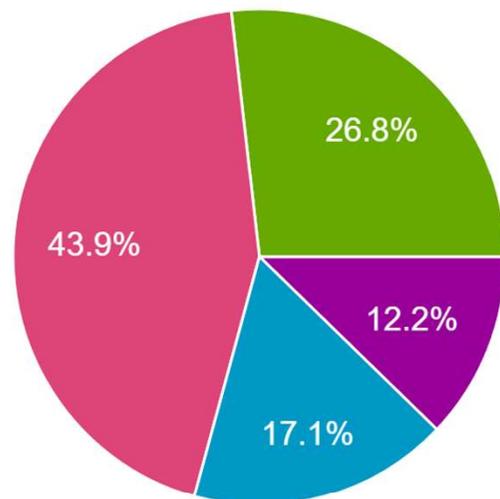
・地方は女性が生きにくいと思います。正社員で働き、家事も育児も女性と考えてるひとが多い。学校役員はなぜか女性。PTA会長だけはなぜか男性。無理です。

【4】 独り言・つぶやきレベルだけど、実は拾ってくれたら喜ぶ！嬉しい！（3/3）

- ・働く女性は、本当に毎日頑張っています。ささいな事でも、温かい一言があるのが一番うれしいのではないのでしょうか？
- ・浜田さんの生のお話が聞けてとても嬉しかったです。
- ・みんな一緒に楽しく生活するためのハード整備をどう考える！
- ・市長、管理職を希望しないのはすでに女性だけに限らないですよ。女性管理職を増やす必要性や意義とメリットデメリットの再認識が必要では？数字を上げることが目的になってしまったら本末転倒です。すでに男性女性に関わらず、管理職になることよりも自分の時間を使うことの方にベクトルが向いている人が増えてきていることに気づいてください。
- ・管理職に希望しないイコール責任を持ちたくないという…底辺には、女性の感情があるのかな？と思います。活躍と言っても職場の環境をベースを変えていかないと入り込めないところが、まだまだあるのかと思います。両方かと…

● あなたの年代は？ ※ 1回のみ、ご回答ください

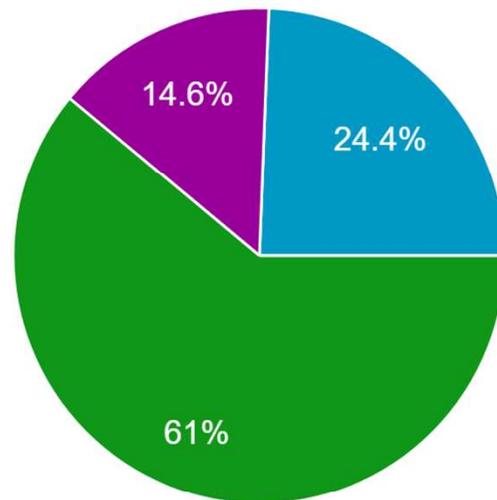
41 件の回答



- 0～14歳
- 15～18歳
- 19～24歳
- 25～29歳
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代以上

● あなたの職業は？ ※ 1回のみ、ご回答ください

41 件の回答



● 小・中学生

● 高校生

● 学生（専門・短大・大学・大学院）

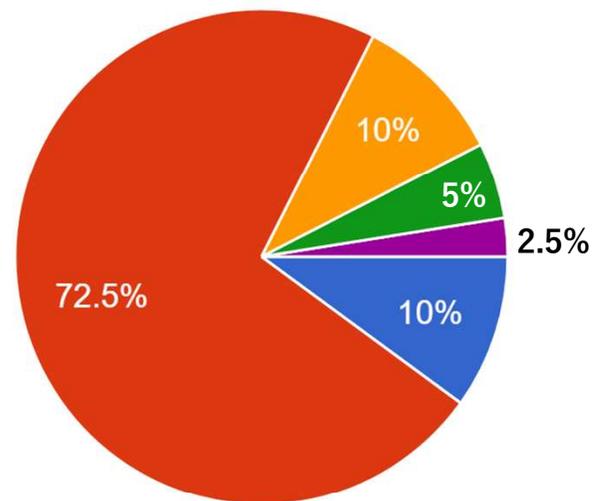
● 会社員（派遣社員含む）

● 自営業（個人事業主または会社経営など）

● その他（主婦、主夫、パート・アルバイトなど）

あなたから見た社会、ダイバーシティが進んでる？

40 件の回答



- a. まったく進んでいない (と思う)
- b. 少しは進んでいる (と思う)
- c. おおむね進んでいる (と思う)
- d. 完全に進んでいる! (と思う)
- e. わからない

【回答a：10%】全く進んでいない（と思う）の理由について

- ・結局、いわゆるマジョリティの方々の関心が、マイノリティやダイバーシティの方向に向いていないように思います。
- ・まだまだ進んでないと思う。ダイバーシティという言葉を知っていても、男女格差といい、まわりの意識は変わっていない

【回答c：10%】おおむね進んでいる（と思う）の理由について

- ・理由はないが周りでの実感できる事柄がいくつもある

【回答d：5%】完全に進んでいる（と思う）の理由について

- ・多様化の受入体制はまだただけど、多様化は進んでいる

【回答b:72.5%】 少しは進んでいる（と思う）の理由について （1 / 2）

- ・ 地方の一般企業ではなかなか進んでいないと思う 公務員などの職種では進んでいると思う
 - ・ 女性管理職が増えてきている
 - ・ マスコミを通じた情報がゆるやかに社会に理解されて世の中を動かしている。
- ・ 進めなくては、という社会の傾向はあるか、実態としては仕事や地域における人の意識はまだまだ変わっていない。現状に「慣れて」しまっている。政治や経済の現場で権力や発言権のある人が、本気ではない（自分ごとではない）のも要因かもしれない。
- ・ 何となく
- ・ 女性管理職が多くなった
- ・ いろいろ感じるがあった、市役所の女性管理職が増えたように感じている
 - ・ まずはダイバーシティという言葉が色々なところで聞かれるようになってきたと思うからです。中身についてはこれからに期待、だと思えます。
- ・ 少数ではあるが男性育休を取る人が居る
- ・ 職場で定期的に研修を受ける機会があり、入社当時と比べると変わってきたと感ずることがあります。
 - ・ 周りにそういう言葉を使っている人がいるので意識しているのだと思う

【回答b:72.5%】 少しは進んでいる（と思う）の理由について (2/2)

- ・昔よりは考え方など、変わったと感じる
- ・男性で育児休暇をとる人が増えた。
- ・ダイバーシティがこうした議題に上がっているから。ただし、広がってるとは思えないから。
- ・あまり目にもすることも耳にすらる機会がない。
- ・子ども世代(20代)の意識が変わっていると実感します。
- ・職場における育休制度の推進ができたため。
- ・勤務先では男女の勤務割合はほぼ同数で、男女平等の処遇を行われていますが、女性管理職は増えていません。社会的に制度は徐々に整えられていますが、なかなか個人の考え方がついていけない気がします。
- ・まだまだ特に年配の方の理解が進んでいないと思う
- ・職場でも育休を取得したり、子供の送り迎えで時短・フレックスタイムで勤務する男性職員が増えた印象がある。
- ・職場の女性管理監督職が増えているので。とはいえ、まだまだ意志決定の場での女性参画は少ないと感じているので。
- ・外国の方を多くみかけ、日本語の指導も進んでいると聞いているから。